

ますます増える世界の孤児たちに希望の人生を

孤児院に入ってくる子どもたちは、HIVに感染している孤児もおり、両親がいない子どもはもちろん、生年月日の分からない子どもや、もし孤児院に来ていなければ間違いなくもう生きてはいなかったと思える子どもたちばかりです。

現在、礎の石孤児院では、カンボジア、フィリピン、ザンビアにおいて孤児たちを受け入れ、孤児院としての働きをしております。また、日本において児童養護施設設立の支援をしていきます。私たちは、さらに多くの国々で孤児院の働きを始めていきたいと願っています。どうぞご支援をよろしくおねがい致します。

支援金送付先

当団体は認定NPOの認可を受けており、皆様のご寄付は「寄付金控除」の対象になります。

| | |
|--------|--|
| 郵便振替 | 【口座番号】 00130-5-24249 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 |
| 銀行振込口座 | みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2069305 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 |
| 銀行振込口座 | みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2915961 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため |
| 郵便振替口座 | 【口座番号】 00120-5-417839 【加入者名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため |

礎の石孤児院・会員(パートナー)募集中

私たちNPO法人「礎の石孤児院」では皆様のご支援金によって各孤児院の運営が支えられており、子どもたちが養われております。定期的に支援金をもって支えてくださる会員を募集しております。

- 会費:1口500円~/月 ●お一人様、何口でも寄付できます
- 会費の納入は【一括】もしくは【分割】を選択できます

お申し込みは郵便番号・住所・氏名・電話番号・メールアドレスをお書き添えの上、下記の住所またはEメールアドレスまでお送りください。(※正会員のお申し込みをご希望の方は事務局にお問い合わせ願います)

特定非営利活動法人 礎の石孤児院東京事務局
〒141-0031 東京都品川区西五反田1-14-1 クレイنزヒル岩崎201
TEL:03-5740-8814 FAX:03-5740-8817
E-mail:ishizue@athena.ocn.ne.jp

礎の石孤児院WEBSITE <http://www.cornerstone.or.jp>



賑やかな子どもたち(カンボジア孤児院)

皆さまの御支援、御協力、いつもありがとうございます。

緊急の御支援として皆さまにお願いしておりました、ザンビア孤児院のトイレの修繕費と、車両保険の件は、皆さまの御支援により必要な金額が満たされ、本当に感謝致します。

フィリピン孤児院の土地の税金に関しては、まだ必要な金額には達していない状況であります。

また、カンボジア孤児院では、何人かの子どもが病気になるなど、少し心配なことが許されております。

しかし、きちんと医療機関の手当をうけることができ、安堵とともに、皆さまの御支援に本当に感謝するばかりであります。私共孤児院の子ども達は、皆さまの御支援によって支えられている、と本当に痛感致します。

何卒、これからも皆さまの御支援、御協力、是非よろしくお願い致します。

カンボジア孤児院レポート

ルツ前田

チヨムリアブスワ!(こんにちは!)『礎の石孤児院』の働きの為の皆様からのご支援とご協力を、心から感謝申し上げます。4年間大学で学んだ男子学生の内1人は、もう1年学びが残っていますが、実践として仕事をしながら学んでみたいという希望があり、孤児院から自立という形で手続きを取りました。もう1人は、現在研修期間を過ごしていますので、終了後は早速仕事に就いて孤児院から自立し社会人となって行きます。子ども達が孤児院で生活し学び社会に巣立って行く姿は、私達にとって本当に喜びです。皆様からの息の長い心温まる子ども達の為のご支援を、本当に感謝しています。子ども達の健康面に於きまして、ここ1~2ヶ月の間に突然の高熱が出て原因がわからないという状況や、水疱瘡、麻疹などの感染症などでも数人が入院して治療を受けなければなりません。幸いに、現在は全員が健康を取り戻して元気に過ごすことができています。さまざまな状況に対応してくれる、現地スタッフ達にも感謝しています。また、さらに孤児院たちを受入れる為の体制として、子ども達をお世話するケアスタッフを増員する必要もありますので、続けて皆様のご支援を頂ければ幸いです。



大学4年までの皆様からのご支援を本当にありがとうございました

ザンビア孤児院レポート

シオン桜子ムタレ

ムシャリーニ(お元気ですか)? ザンビアの礎の石孤児院は、改名してCornerstone of Hopeとなりました。非常に貧しいスラムの一つで、孤児への就学支援を始めています。主に本人がHIV陽性か、親をHIVで亡くした孤児を重点的に支援していますが、その他にも様々な事情で学校に行けていなかった孤児も対象としています。敷地内には養鶏場と製粉所があり、そこにある小さなオフィスを教室として用いていますが、10人入ると、もういっぱいになってしまうので、いずれはもっと広い場所に移る事も考えています。殆どの子どもは、家に食べ物がない状況に暮らしているため、その救済のため給食を提供していますが、ザンビアは現在水不足で水力発電が稼働せず、1日15~18時間の停電で、給食費等を賄うはずだった製粉所も稼働できず、経済が、初っ端から厳しくなっていました。どうか皆様のご協力とご支援をお願い申し上げます!子どもたちは学校が大好きで、毎日始業の何時間も前からやって来て、待っています!



子どもたちを"飢えさせない"のは、大人たちの責任です

フィリピン孤児院レポート

エディー・エミア

フィリピンの子どもたちに対する皆様のご支援とご協力を心から感謝致します。ダバオ市があるミンダナオ島で10月16日と31日にマグニチュード6.4~6.7の地震があり、地方政府の指示により、児童生徒の安全のため、校舎など学校の建物に問題がないか点検が行われ、授業再開が1日延期されました。就学支援生やスタッフ、その家族は全員無事でしたが、大きな地震と頻繁に続く余震で、特に小さい子どもたちは2週間の学期休みが終わっても学校へ行くのを恐がっています。地震や余震がこれ以上起こらないように心から願っています。11月は図書月間です。子どもたちはそれぞれお気に入りの本の登場人物に扮装をします。今年も12月に就学支援生が全員集まる年末感謝会を開きたいと思っています。そのためにも皆様のご支援とご協力をお願い致します。



前回の年末感謝会の様子

ブラジル孤児院レポート

松本弘子

皆様のご支援をありがとうございます。日本からブラジルに戻った時に、春のはずなのに連日38度の猛烈な暑さで、どうになってしまうのかと心配しましたが、ようやく雨が降るようになり、涼しくなりました。先日は、バスターミナル付近を歩いていたら、男性に呼び止められ、誰かと思ったら、私を知っている方でした。以前スーパーで日系人の女性を見たので突然でしたが話しかけたら、親しくしていただき、一度お宅に呼んでくださったことのある方の旦那さんでした。ご主人は建築技師の方で、バスターミナルの建物内の市役所に用事があったそうです。以前、孤児院のことをお話すると、興味を示され、車を出してください、グアララパスにある礎の石孤児院の土地を見に行ったことがあります。その後、2児を授かったとのこと。11月~2月に家族4人で日本に行くそうです。「建築技師としてボランティアで仕事をさせていただきますか?」と言ったら、「する」とご返事してくださいました。さらに良き関わりを継続して行けますよう、願っています。皆様のさらなるご支援をどうぞよろしくお願いいたします。



花の季節です